

当院で C 型肝炎ウイルスに対するインターフェロンフリー治療を受けた患者様へ

C型肝炎ウイルスに対する治療の進歩により、インターフェロンを用いない治療が一般的になり、多くの皆様が治療を受けられたと思います。これらの治療は非常に高額となるため、茨城県のウイルス肝炎治療助成制度を利用された方がほとんどです。抗ウイルス療法を受ける際には肝がんがないことが前提条件であり（治療済みのものは可能）、茨城県では助成金申請の際に造影 CT もしくは造影 MRI での肝がんの検査を勧奨しています。

最近インターフェロンフリーの治療後すぐに肝がんが発見される事例が国内外で報告されており、一つの理由として治療開始時の肝がん検査の精度の問題が挙げられています。他の都道府県では必ずしも造影剤を使った画像検査を義務付けてはおらず、一方茨城県の方式の場合、より精度が高いために治療前に肝がんが発見されている可能性があるのです。そこで、茨城県内の病院でインターフェロンフリー治療を行った患者様の情報を全体で集計し、実際にこの方式で治療直後の肝がん発生が少ないのかどうかを検証することとしました。主治医の先生にお願いして、使用されたインターフェロンフリー治療の内容や治療効果、肝がんの発生の有無について調査を行います。今までの診療の内容について主治医の先生にご記入いただくだけで、皆様には特にご負担は生じません。また、皆様の個人情報が入り込まないように、データのやり取りは匿名化した状態で行います。どうか調査の趣旨をご理解いただきご承認をいただくようお願い申し上げます。この調査内容については東京医大茨城医療センターの臨床研究倫理審査委員会にて審査を受け、承諾を得ています。なお、調査に協力したくないご希望がある場合は、主治医に御伝えしていただければ、調査対象から除外することが可能ですのでお申し出ください。

●茨城県肝疾患診療連携拠点病院 東京医科大学茨城医療センター●

（連絡先 消化器内科 池上 正）